

のろし

令和 7 年 3 月 1 日発行

静岡古城研究会

第 280 回見学会

「東三河・作手の城郭群」

— 塞ノ神城・文珠山城・石橋城・亀山城・古宮城 —

開催のご案内

会員のみなさん、こんにちは！城ネコこと事務局長の望月です♪

立春を迎えたものの、まだまだ寒い毎日が続きますね。さて、今号も会員の皆様にお詫びから入らせていただきます。今年度の総会資料にて 3 月 16 日(日)に開催を予定しておりました第 280 回見学会ですが、今回も諸般の事情により一週間遅れの 3 月 23 日(日)の開催となりました。

今回の見学地は愛知県新城市作手。当会にとっては平成 19 年(2007 年)以来の訪問となります。この地区には狭い範囲に武田氏、奥平氏による城郭が集中して存在し、当時の強い緊張状態が感じられる地域となっております。今回の見学会ではあらためて縄張から各城の位置づけ、機能などを考察してみたいと考えております。早くから見学会の日程をおさえていただいていた会員さんには大変申し訳ございませんが、万障繰り合わせの上ぜひぜひご参加いただけますよう、申込みをお待ちしております。

- ☆ 実施日 令和7年(2025)3月23日(日)
- ☆ 見学地 塞ノ神城・文珠山城・石橋城・亀山城・古宮城(愛知県新城市)
- ☆ 担当者 澤田孝治理事、大木一幸理事
- ☆ 参加費 会員 6,000 円、非会員 7,000 円
- ☆ バス 市沢さんのバス
- ☆ 脚力レベル ★★☆☆☆(3)
- ☆ 申込方法 お名前、電話番号、乗車地(赤文字で記された場所)を明記の上、
s-kojouken@outlook.com まで
- ☆ 申込締切 令和 7 年 3 月 19 日(水)
- ☆ 定員 28 名
- ☆ 身支度 ハイキング程度の服装(滑りにくい靴・雨具)・弁当、飲物類
- ☆ 悪天候時、午前6時時点で中止または延期を決定して知らせる。
悪天候でも決行する場合は、長篠城址、設楽原歴史資料館などの見学に変更する。

☆ 日程(予定)

8:00	JR 静岡駅北口 集合、バス出発	
8:10	静岡 IC	
8:45	小笠 PA	
9:10	三方原 PA	
9:20	三ヶ日 JC	
	↓	
	新東名高速道路	
10:00	新城 IC	
10:10	道の駅「もつくる新城」 10 分間休憩	
	↓	
	国道 150 号線、県道 21 号線、国道 301 号線	
11:10	道の駅「つくで手作り村」	
11:40～12:05	塞ノ神城見学	塞ノ神城入口→亀山城は徒歩移動
12:35～13:15	文珠山城見学(昼食)	
13:50～14:10	石橋城見学	
	道の駅「つくで手作り村」	
14:20～14:45	亀山城見学	
15:00～16:00	古宮城見学	
16:40～17:00	道の駅「もつくる新城」	
	↓	
17:10	新東名高速道路 新城 IC	
17:50	三ヶ日 JC	
18:00	三方原 PA	
18:25	小笠 PA	
19:00	JR 静岡駅南口 解散	

* 雨天決行、悪天候の場合は、見学地、コースを変更する場合あり

(主な見学地の概要)

【塞ノ神城】

元亀年間に三河に侵攻した武田軍により築かれたとの説、武田氏と和睦した奥平氏が文珠山城とともに築いたとの説、さらに奈良時代に三河三大長者のひとりで作手郷開拓の祖といわれる米福長者によって築かれたとする説もある。武田方の拠点として築かれた古宮城と連携して作手往還をおさえる城として運用された。

築城年代は定かではないが元亀年間(1570 年～1572 年)に奥平氏によって築かれたと推定される。

【文珠山城】

亀山城主の奥平氏が一夜にして築いたとも伝えられ一夜城とも呼ばれている。
標高 661m の山頂に築かれており、現在は公園として整備され櫓を模した展望台が設置されている。
奥平氏の居城である亀山城の北西、武田氏の拠点といわれる古宮城の南西、同じく武田氏の砦と伝える塞之神城とは尾根続きの山である単郭の城で、東西に長い楕円形の主郭には土塁と帯曲輪が巡らされている。

【石橋城】

築城年代は定かではないが応永年間に石橋弾正久勝によって築かれたと伝わる。石橋久勝は奥平氏二代奥平貞久の二男で、この地に屋敷を構え石橋氏を称したという。

天文 6 年(1537 年)石橋弾正繁昌は主君への謀反が露呈し、奥平貞勝の命を受けた土佐定雄によって攻められ郎党四十人余が討ち死にした。

石橋城は現在の慈昌院の境内となっており、境内の北から東側にかけて土塁と堀が残っている。

【古宮城】

古宮城が同時代の史料に全く登場しないため、城史については明らかではないが、『三河国二葉松』によると元亀 2 年(1571 年)に武田信玄が馬場信春に命じて築城させたとある。独立丘陵を丸ごと全て削工を加えた遺構は圧巻で、随所に武田氏の築城技術が盛り込まれた姿を見ることが出来る。街道上の要衝に立地し、当時武田氏が抗争していた三河の徳川氏攻略の拠点として築城されたと考えられ、『二葉松』によると小幡又兵衛、甘利左右衛門、大熊備前守が在城したと記されている。廃城の時期についても明らかではないが、天正 3 年の設楽原の戦いで武田氏の勢力が大きく後退した時期の可能性が高い。

三河国北東部の山間地にある作手盆地の中央部に立地する。城のすぐ西には作手盆地を南北に縦貫する作手街道が走り、また城の南側には作手街道から分岐した街道が東に伸びるなど、山間部の交通の要衝といえる位置にあり、また、城は周辺からの比高 30 メートルほどの小さな独立した丘にあり、作手街道を挟んで西側には塞ノ神城のある本城山が迫っている。



ニャンコな情報局

城ネコ NEWS 「古城」68号の投稿を大募集！

7 月に発行予定の静岡古城研究会機関誌『古城』68 号に投稿していただける方を募集します。

★投稿は会員に限らせていただきます。

★内容は中世城郭に関する論文・研究ノート・調査報告です。静岡県内の中世城郭、日本中世史、城郭史に関するものといたします。

★投稿の締切は 5 月末日。可能であれば 4 月中に表題と予定ページ数を連絡ください。

★原稿は電子データによる提出をお願いします。

★校正を郵送しますので住所、電話番号を明記して下さい。

★割付(図・表は何枚目かなど)もお願いします。PDF を添付するか出力したものを郵送でも結構です。念のため図・表を含めた総ページ数もお知らせ下さい。

★1 ページは縦書き 2 段組で、各段 30 文字×24 行。図・表を含め 20 ページ以内を目安に。

原稿の送信アドレス kanezashi163101@gmail.com (編集長:金刺信行)

图 1

古宮城・龜山城周辺地形図 (国土地理院 1:25,000 作手)

